



副腎皮質機能低下症ってなに?

どんな
病気?

副腎から分泌されるホルモンが不足することで起こる病気
副腎皮質(副腎の外側)から分泌されるホルモンのうち、グルココルチコイドとミネラルコルチコイドの2つのホルモンが出なくなったり、少なくなることにより、体調不良が起こります。



おもな
特徴

不足するホルモンの種類によって
2つのタイプに分かれます。

不足する2つのホルモン

- グルココルチコイド—— 抗炎症作用があり、ストレスと闘うホルモン
- ミネラルコルチコイド—— 水分を体に保持する働きがあるホルモン



2つのタイプ

	定型	非定型
特徴	グルココルチコイドとミネラルコルチコイドの両方が不足する。自分の免疫細胞が副腎皮質を壊してしまう自己免疫疾患が原因と考えられる。	グルココルチコイドのみが不足する。老化による機能低下が原因と考えられる。
好発年齢	4～5才	12才以降
なりやすい犬	ブードル(すべてのサイズ)、ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア、グレート・デーン など	小型犬
好発の性別	メス	性差なし

おもな
症状

消化器症状がよく見られ、
ショック症状を起こす
ケースも。

- 食欲不振
- 嘔吐
- 下痢
- 元気がない
- 多飲多尿
- 突然倒れてぐったりしている

(意識がもうろうとして体に力が
が入らず、下痢などの排泄物が
もれていることも)

急に起こり
命にかかわる!
アジソンクリーゼ

など

よくなったり悪くなったりを繰り返し、発見が遅れる
ケースもあります。そして、何らかのストレスに耐えら
れなくなったときに、急にショック症状を起こして倒
れる場合も(アジソンクリーゼ)



検査

まずは血液検査やエックス線検査、超音波検査、尿や便検査などで疑わしい病気を鑑別していきます。定型タイプでは、血液検査でナトリウムやカリウムなど電解質の数値に異常が出ることから、病気の予測が可能です。
副腎皮質機能低下症が疑われた場合は、確定診断のためにACTH刺激試験を行います。

治療

不足しているホルモンを飲み薬や注射で補充する治療を行います。副腎の機能は正常に戻らないため、治療は生涯必要です。定期的な通院を続けながら、薬の種類や量を調整して補充すれば、体調不良は改善されます。また、急に起こるアジソンクリーゼは、治療が遅れると命にかかわります。早急に受診し、症状への処置やホルモン補充などの治療を受ければ回復します。

予防法

予防はできないため、早期に発見し、治療を開始することが大切です。定期的に健康診断を受けて体調の変化に早めに気づいてあげることが大切です。

いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込むと
2号(2ヶ月分)無料!!